



「ばしゃばしゃ」

テラスで水遊びをしました。初めはそ〜っと水に触れていましたが、遊び始めると水が入っているタライの中へ自分で入り、水をばしゃばしゃしたり、容器に水を入れてばしゃ〜んと流したり、夏の醍醐味である水遊びを楽しんでいました。顔に水がかかってもへっちゃらなひよこ組でした。

遊んで汗をかいたときにはその都度、沐浴をしています。お湯がかかると嬉しそうに笑ったり、気持ち良さそうな表情をしています。午睡前に沐浴してさっぱりすると心地よいようで午睡前に沐浴をするとす〜っと眠りについていきます。暑い夏はまだまだ続きますが、子どもの体調を整えながら快適に過ごせるようにと、取り組んでいます。



「子ども達の好きなふれあいあそび」

「かいだんのぼって〜」のところで、くすぐられることがわかり首を傾けたり、にこにこしたいしながら待ちかまえています。“こちょこちょこちょ〜”とくすぐると声を出して笑って喜んでいきます。右手をすると今度は左手。左手をすると今度は足を差し出す姿がかわいいです。

一本橋こちょこちょ(人差し指で手の平を触ります)

たたいてつねって(手の平を軽くたたいてつねります)

階段のぼって〜(手の平から脇や首をめがけて指で登っていきます)

こちょこちょこちょ〜♪(たくさんくすぐってあげてください)



「よろしくね」

8月から新しいお友だちが2人、増えました♪

おおつか そうたくんと ふじなが かけるくんです。たくさん遊ぼうね。

〇・Sくん



Kくんは欠席が続いているので、9月のクラスだよりでご紹介したいと思います。





第5号

すみれぐみだより

平成29年8月10日（木）

気持ちよく晴れ渡った青空に、まぶしい太陽の日差しとともに夏がやってきて、水遊びの楽しい季節となりました。遊びに夢中になりすぎて、熱中症にならないようにと気をつけ、水分補給しながら夏の子どもたちの健康を守っています。



「水あそび」

すみれ組はグループに分かれ、少人数で4日間水遊びをしました。テラスに出ると子どもたちの表情は明るくなり、それぞれ好きな水鉄砲やじょうろを手に取っていました。保育士が水鉄砲で水をかけると、「つめたーい」と逃げ回ったり、テラスに咲いているひまわりに水をあげたりしていました。夏の季節を十分に楽しむことが出来たのではないかなと思いました。

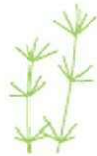


「絵本の紹介」 ～ たまごのあかちゃん ～



「たまごのなかで かくれんぼしている あかちゃんはだあれ でておいでよ」のかけ声の合図でいろいろな動物が出て来ます。子どもたちもこの絵本が大好きで卵の絵を見ただけで「へび～」「かめ～」と次に出てくる動物の名前を言っています。卵の大きさは絵で大きいか小さいか判断できる子どもたち。保育士と一緒に「たまごのなかで・・・」と小さいたまごの時には小さい声で、大きいたまごの時は全身を使っておおきな声で言っています。子どもなりに声の大きさでたまごを表現してるところがとても可愛いです。これからも、子どもたちが一緒になって楽しめる絵本をたくさん読んでいきます。

すみれ組担任:中村、有蘭、船石、萩尾



ちゅうりっぷぐみだより



平成29年8月10日（木）発行

梅雨が明け、暑い日が続いています。ちゅうりっぷ組では、2階のテラスでタライやビニールプールを出して水遊びやプール遊びをしています。子どもたちは、プール遊びが好きなようで「今日プール入る?」「またお水であそびたいな」と話しています。プールに入ると「冷たいね〜」「冷たいお風呂みたい」と言いながら、マヨネーズの容器や水鉄砲を使って、友達同士で水をかけあっています。

水遊びと十分な水分補給で、暑い夏を乗り越えていこうと思います。

「洗濯ごっこ」

使い終えたハンカチを保育士が洗濯機へ持っていこうとしました。するとせなちゃんが「洗ってあげる」と言い、他の子どもたちも「洗いたい!」と言うことで、みんなでテラスに出てタライで洗うことになりました。家での洗濯の様子を見ていたようで、洗い終わると洗濯バサミを使って干していました。干す前にしわが伸びるように叩いている子どもや、洗濯バサミを何個もつけている子ども、それぞれの経験を通して干し方が異なっていました。おやつの後、洗濯物が乾いているか見に行くと、「先生!濡れてないよ!」「乾いたね」と保育士や友達同士で話していました。ハンカチを取り込んだ後はそれぞれ丁寧に畳み、洗濯ごっこを終えていました。



♪仕上げはお母さん

磁石でくっつく玩具で遊んでいた日のことです。数人の子どもたちが囲む真ん中で一人の子どもが寝転んでいました。何をしているのかな?と思い見てみると、磁石の棒状の玩具を歯ブラシに見立て、「あーんしてね」「きれいになったかな?」など言いながら歯磨きをしていました。歌「歯磨きじょうずかな?」を歌っている子どももいました。お母さん役と子ども役を交代しながら歯磨きごっこを楽しんでいました。



泥遊びをしました。普段とは違う土の感触に戸惑っている子どももいましたが、徐々に泥の気持ち良さを感じたようで手足で触り、楽しんでいました。

泥団子を作ったり、泥の上に座り込んだりしていた子どもたちは、全身が泥だらけになるまで遊び、開放感を存分に味わっていました。





平成 29 年 8 月 10 日 (木)

夏の遊びを満喫！

暑い日が続いています。子どもたちの大好きな泥遊びをしました。廃材の容器を準備し、タライに水を溜めておくと子どもたちは、園庭に勢いよく駆け出し遊びはじめました。自分の好きな容器を見つけると、容器に水や砂を入れスプーンでかき混ぜると、「コーヒーゼリーできました」「コーヒー牛乳です」と次々にできたものを運んで並べ、お店屋さんごっこを開店しました。

しばらくすると、地面に大きな水たまりができてプラスチックの容器が2つ浮いていました。それを見たしんご君が、「見て！船みたいやね」と言うと、空いている容器を次々と浮かばせ始めました。「すごいね！船がいっぱい」と子どもたちが元気いっぱい、はしゃいでいる笑顔は、夏の陽に負けなくらいに輝いています。



子どもの興味を受け止めて

絵本コーナーにある「ながいでしょ！りっぱでしょ」というお話をしました。

本の内容は、ゾウさんの鼻、へびさんのからだ、キリンさんの首、ダチョウの足。みんなが得意げに長さを自慢します。あれ？でもニワトリさんは何が長い？というお話ですが、子どもたちは、このお話をきっかけに保育園にある長いもの探しを始めました。

子どもたちは、身近にあるものの長短だけでなく、大小にも関心が向くようになっていきます。先日、そうすけ君の連絡帳に“家に帰ってからも長いもの探しをしています”と書かれているのを読んでうれしく思いました。身近な生活の中から幾何学的な興味や数に興味をもてる、環境づくりの工夫の大切さを感じました。



異年齢児に親しみがもてるように

8月後半から異年齢児との交流を少しずつ増やしていこうと計画しています。

一緒に遊んだり、食事をしたりして親しみがもてるような機会をつくり、年上のお兄さん、お姉さんの姿をみて刺激を受けながら、「すごいな」「いいな」と、憧れを抱いてくれたらと願っています。

こすもす組担任：崎野・河内



ひまわりだより

H29. 8. 10(木)

プールだ！！泥遊びだ！！

待ちにまったプール遊びが始まりました。太陽に照らされた水の中に入ると、「気持ちいい」や「冷たい」等の歓声が園庭に響いていました。プールの中では、ワニ歩きや、フープをくぐつての宝探し、友だちとの水の掛け合い、バタ足、また、水鉄砲では、「5.4.3.2.1.発射」などと言って水を飛ばして遊んでいます。プールを楽しんでいる子ども達を見守るように、トンボが寄り添っていました。



「けん玉名人出るかな？」

保育室にけん玉をおいていると、早速子ども達が興味を示し、けん玉を手にとり、「こう、もつと？」と保育士にもち方を教えてもらったりして、遊んでいます。子ども達は、「ぶつかるから広がって」と、友だちにけん玉が当たらないようにしながらも何度も挑戦しています。タイミングがあい、大皿や小皿に乗った時は、「見てー、乗ったよ」と、友だち同士で見せ合っています。

カードにシールを貼るなど、子どもたちの意欲が高まるようにと、思います。

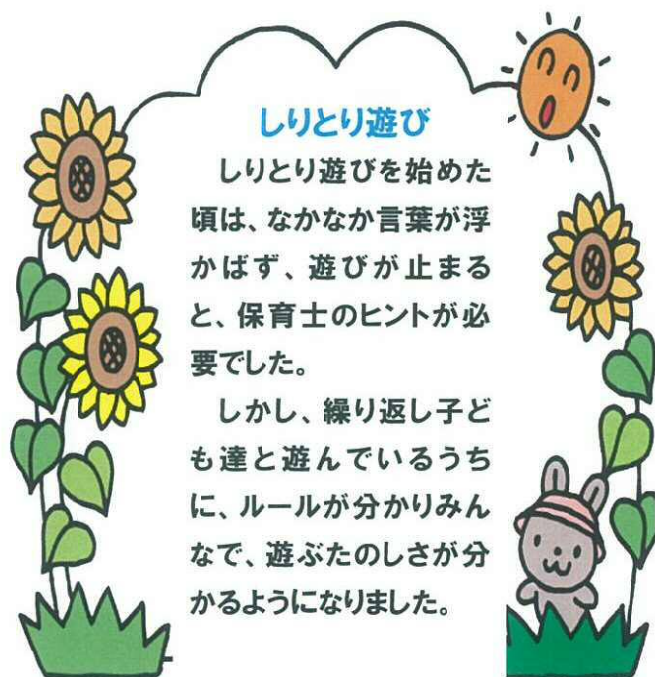
けん玉名人が、出るか楽しみです。



しりとり遊び

しりとり遊びを始めた頃は、なかなか言葉が浮かばず、遊びが止まると、保育士のヒントが必要でした。

しかし、繰り返し子ども達と遊んでいるうちに、ルールが分かりみんな、遊ぶたのしさが分かるようになりました。





たんぼぼだより

発行：平成29年8月10日（木）

たくさん育ったよ！

きらきらもりもり畑に、夏野菜が実りました。ある日収穫をしていると、生長しすぎたキュウリをみつけました。初めは大きなキュウリに驚き「きゅうりってこんなになるんだ！すごいね！」と喜んでいましたが、「でも、このきゅうりってもっと早く取ってあげた方がよかったかも。」「早くとって一つ一つ言っていたかもね」「今度からは大きくなりすぎる前に、ちゃんととってあげよう」と話していました。愛情を込めて見守り、喜び、語りかけながら、子どもたちは野菜の生長に驚きと発見の毎日です。たくさん収穫することのできたトマト・オクラ・キュウリを使い、クッキングも計画してきました。初めのうちは、収穫を喜んでいただけでしたが、次第に調理にも興味を持ち、苦手な食材も「ちゃんと食べないと野菜が可愛そう」「一生懸命育てたのに食べないと悲しむよね」とすすんで食べようとする姿が見られるようになってきました。野菜を育て、収穫し、調理することを経験し、子どもたちは育てることの喜びを知り、また野菜にも命を頂いているということに気づくことができたのではないかと思います。

どこまで伸びる？

夏の日差しを浴びて、園庭の向日葵が元気いっぱい育っています。子どもたちは、日に日に大きくなっていく向日葵と背比べをしては「私たちの方が高い！」「まだまだ大きくなるかな。向日葵さん、どんどん大きくなるんだよ！」話しかけていました。あっという間に背が高くなった向日葵に「すごい！いつの間にこんなに伸びたの？」「もっと大きくなるようにたくさんお水あげるからね」と驚きながらも、向日葵の生長を喜び、花を咲かせるのを楽しみに待っています。



気持ちいい♪

先月19日にプール開きがあり、子どもたちのまちに待ったプールあそびが始まりました。園庭には、真夏の太陽にも力強い蝉の鳴き声にも負けない、子どもたちの元気な歓声が響き渡りました。プールでは、水中に沈んだ玩具を潜って探したり、ワニ泳ぎをしながらフープをくぐったりして遊んでいました。



☆わくわくドキドキ お泊まり保育☆

9月15、16日（金、土）は小倉南区にある“もりのいえ”へお泊り保育に行きます。子どもたちはカレンダーを見ては「みんなだけで泊まるんよね？」「前のたんぼぼさん、楽しいって言ってたけど、どんなところだろう」と話をしています。初めてお泊り保育を経験する保護者の方もいらっしゃると思いますので、皆さんに集まっていただいて詳しく説明する日をつくりたいと思っています。

日程は、後日お知らせいたしますので、ご協力よろしくお願い致します。